（別添７）

事業所名　グループホーム　しらゆり竹田

2　目標達成計画

作成日：　平成　24　年　1　月　11　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者家族の訪問時に、出来るだけ利用者の状況等を伝えるようには努めているが、逆に家族からの意見や要望を聞きだす工夫がされていない。	利用者家族が気兼ねなく意見や要望を出せる環境を作ると同時に、家族と職員間の良好な人間関係を築く。	①アンケート調査の実施 家族の意向を酌みとる為の質問を数項目設定し、選択回答方式（気軽に答えられるよう）で行う。　②家族が気軽に意見や要望を出せるように、職員のコミュニケーション能力を高める。	6ヶ月
2	35	消火訓練は消防署の協力を得て地域住民と共に実施しているが、利用者を交えた避難訓練を過去2年間実施しておらず、災害発生時の避難対応がスムーズに出来ないのではないか。	災害発生時には、避難誘導する職員及び地域住民が適切に対応出来るよう、施設独自のマニュアルを作成し、定期的な避難訓練を行う。	①施設独自の避難マニュアルを作成し、日中・夜間それぞれを想定した避難訓練を行う。 ②避難協力を仰ぐ地域住民の方に、施設の間取りや利用者の身体状況等（自力で歩けるか、車椅子が必要か等）を予め知らせておく。	6ヶ月
3	4	2か月に1回運営推進会議を行い、状況報告や意見交換を行っているが、出された意見が職員全員に共有されておらず、サービス向上に活かされていない。	運営推進会議の意見内容を職員全員が共有し、サービス向上に具体的に活かす。	①管理者は運営推進会議で出された意見を定例会議で報告し、職員全員が同じ認識を持って介護サービスに活かす。 ②運営推進会議のメンバーに定期的に施設を見学してもらい、意見・感想を求める。	6ヶ月
4	20	利用者個々の生活歴についての情報が乏しく、職員は利用者の趣味趣向や馴染みの人・場所について充分に把握できていない。	職員は利用者の生活歴を理解し、馴染みの人や場所との関係が途絶えないよう支援する。	①利用者の生活歴についての情報を収集（家族、親戚、友人等からヒアリング）し、全職員が分かるように記録として残す。 ②利用者の趣味趣向を尊重したサービスを提供する。	10ヶ月
5					

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。